

第6回

文字と音声

(1) 語末の<-e>の不思議

語末の<-e>の不思議

<-e>で終わる
単語が多いのはなぜ??



kite

pole

mete

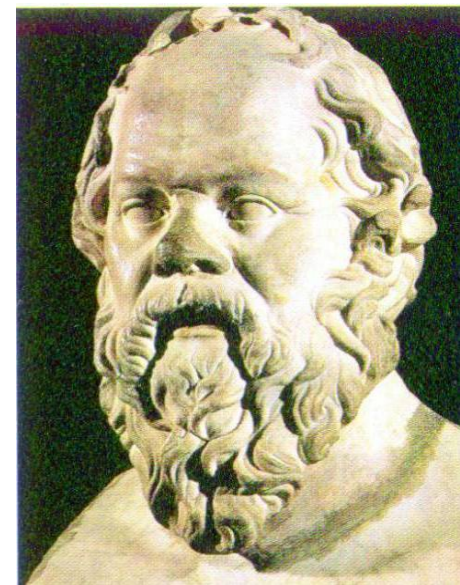
time

cute

intimate

cottage

breathe



ちょっとその前に・・・

～音素と異音～

●音素(phoneme):

単語の意味の違いを起こさせる音。//で表現

例 pin の /i/ と pen の /e/

●異音(allophone):

意味の違いを起こさせない程度に異なる音
[]で表現

例 pit の [t] と tip [t] は、前後の音によって
音 が多少違うが、意味に影響は与えない

ちょっとその前に...



基礎知識 母音の変化



古英語期	母音文字 (単音)	i	y	e	æ	u	o	a
	音素	/i/	/y/	/e/	/æ/	/u/	/o/	/a/

無強制音の弱音化

中英語期	母音文字 (単音)	i	半母音e	消失u	e	o	ea	e
	音素	/i/	/e/	/u/	ə	o	ə	ɔ

例: nacod → naced (→ naked)

中英語期末 語尾の<-e>音が多く消失

●語源的語尾-e

語源上存在

語末の<-e>は発音はされないが
文字のみが残る場合が多くあった

例 OE gode **e** → ME good

余剰的な-e

然付加された<-e>

例 OE hiw → ME hewe **e** (=hue)



発音されなくなった語末の<-e>の
活用方法

無駄な語末の<-e>を無駄にしない

1. 直前の母音が二重母音であることを示す

例: kit kite sit site

2. 直前の母音が長母音であることを示す

例: breath breathe

bath bathe

確認問題



現代英語の単語の末尾母音に<-e>が多い理由を、
語末の<-e>と関連させて述べてみましょう！

確認問題



中英語期末 語尾の<-e>音が多く消失したが、
文字のみが残る場合が多くあった。

発音されなくなった<-e>音は、
直前の母音が二重母音であること
直前の母音が長母音であること
を示す。